



三島村・鬼界カルデラ ジオパーク



Takeshima Island



Iwojima Island



Kuroshima Island



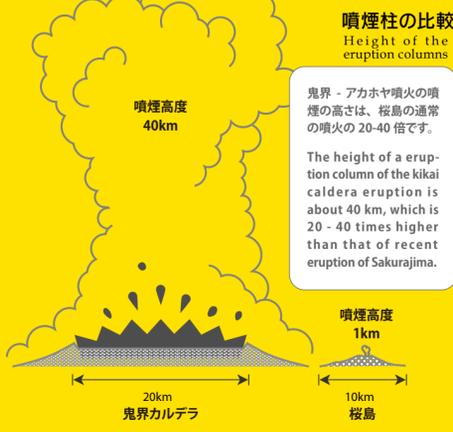
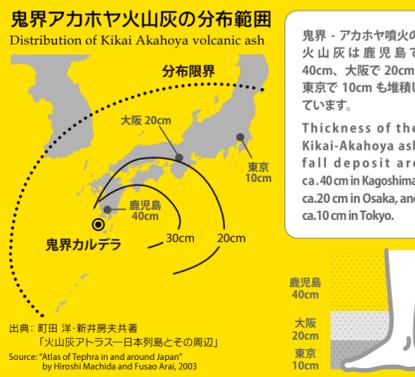
【鬼界カルデラはこんなにすごい】

～「アカホヤ」火山灰のひみつ～

竹島と硫黄島を北縁にする鬼界カルデラは、三島村の地形や地質を語る上で最大の特徴といついでいでしょう。「鬼界カルデラ」は、北西～南東の長さが約25km、北東～南西が約15kmの楕円形をしていて、複数の巨大噴火によって形成された、いくつかのカルデラが複合してできたものと考えられています。カルデラのほとんどは海底にあり、その地形を直接観察することはできませんが、反対に海底にあることでカルデラが形成された時の状態がよく保存されているともいえます。

大規模な火砕流を発生させるような火山活動は、約58万年前に始まったと考えられていますが、現在の鬼界カルデラの形成に関わるような噴火は、約9万5000年前が始まりともいわれています。

特に約7300年前に発生した火砕流とそれに伴う火山灰は、九州はもとより関東や北信越地方の環境にも影響を与えるくらいインパクトがありました。この大噴火は、日本における過去1万年間の噴火では最大のもので、南九州の縄文人のほとんどが犠牲になったといわれています。この時の火山灰は、関西地方でも約20cmの厚さで現在も確認でき、その外見から「アカホヤ火山灰」と呼ばれています。このアカホヤ火山灰は年代がしっかりと特定されていることから、日本中の考古学研究者が時代を判定する「鍵層」として利用しています。縄文時代の日本にとって、鬼界カルデラの火山活動は、重要な意味があるのです。そんな地球の動きが、体感できる三島村は、まさに活動する自然の博物館といえるでしょう。



三島村へ行こう！



鹿児島港からの時間の目安(フェリーのみし)
 【鹿児島港】→約3時間→【竹島】→約40分→【硫黄島】→約70分→
 【黒島(大里)】→約30分→【黒島(片泊)】
 ※詳しい運行は、事前にお確かめください。
 ※出港の可否につきましては、出港当日の朝に三島村役場(下記電話)にて、
 ※出港当日は、乗付が大変込み合います。どうぞ、お時間に余裕を持ってお越しくださいませ。
 ※乗車・二輪自動車・大型貨物等輸送のご予定のあるお客様は、
 必ずご予約をお願いいたします。
 予約受付/中川運輸(株)TEL099-813-7751

鹿児島県三島村役場
 〒892-0821 鹿児島県鹿児島市名山町12番18号
 TEL 099-222-3141 / FAX 099-223-1832
 URL http://mishimamura.com

硫黄島の温泉 ～ジオを満喫できる温泉の数々～



東温泉
 硫黄島を代表する温泉といえば、やはり開放感あふれる東温泉でしょう。その名の通り、島の東側に位置して、前面には東シナ海、背後には硫黄島という大自然に囲まれた露天風呂が特徴です。
 硫黄島の火山ガスが溶け込み、湧き出す温泉で、日本でも一・二位を争うほどの酸性度の高さを誇ります。そのため洗濯や洗顔などには適さず、目に入れると刺激が感じられます。温泉水と反応して変色した乳白色の海水と、バフテリアにより緑色に見える濁だまりとの対比が爽やかです。この強烈な個性から日本の秘湯100選にも選ばれています。



大谷湯・穴之浜温泉
 この二つの湯は、明確な入浴施設はなく、本当にワイルドな温泉出現場といえるでしょう。両方とも島では北側に位置していますが、大谷湯は、海岸に堆積した岩礁の一部から湧出するというもので、入浴はよほどの条件がそろわない限り、なかなか難しいでしょう。
 穴之浜温泉は条件によって濁り具合が異なりますが、温泉湧出によって海面が変色するところに面白さがあります。その色の美しさから「七色の海」と島のひとは表現しています。



坂本温泉 (改装のため休止中)
 島の北側海岸から湧き出る温泉です。充分な入浴施設はありませんが、干満の時間帯を上手に計りながら入浴するスタイルは独特です。湧出温度が高温のため冷たい海水と混合することで入浴が可能となります。
 泉質は塩分濃度が濃く、保温効果などがあって、かつては島の人々は近くの小屋に宿泊しながら湯治を続けていたという湯でもあります。



三島開発総合センターの入浴施設
 入浴料無料(島外の方は有料)で楽しめるのが三島開発総合センターです。他の硫黄島の温泉は個性のなめらかなので、開発センターの入浴施設が一番気軽に楽しめるというでしょう。泉質も単純泉で入りやすく、島民とのふれあいも楽しむことができます。湧出温度は42度くらい、泉源が遠く温度が低下するため、追いかけしています。

ジオの産物・島の特産品

大名たけのこ (リュウキュウチク)
 巨大噴火で噴出した火砕流や火山灰がたつた酸性の土壌に適応したのが、リュウキュウチクです。リュウキュウチクのたけのこは、その昔は「薩摩の隠れ味」か口にすることのできなかつたため「大名たけのこ」と呼ばれます。あく抜きが必要がなく、濃厚な味と歯ごたえが特徴です。5月と6月の旬の時期、島の家庭では、よく食卓に上がり、この地ならではの味は、島の民権でも味わうことができます。

つばき
 大名たけのこのように、三島村に自生するつばきも巨大噴火がきっかけで酸性の土壌に適応しました。つばきの実からとれる精油は、肌に優しい自然の恵みとして定評があり、その精油から作るせっけんなどは三島村の特産品になっています。

こんな加工品があります!
 椿油、椿石鹸、椿うどん...

黒島みかん
 島民の熱意によりかたく原種を守り続けてきた太古の昔の味そのまのみかん。黒島に自生しており、桜島みかんの原種ともいわれています。完熟する前は香りが強く、完熟するとほのかに甘くさっぱりとした味わいです。

こんな加工品があります!
 黒島みかん シフォン ケーキ

三島村観光協会 公式通販サイト
 三島村の特産品・グッズなどを扱っています。

みしま焼酎公式 通販サイト
 三島村の焼酎がオンライン購入できるようになりました。

焼酎のご購入は、公設公営の焼酎蔵「みしま焼酎 無垢の蔵」へ!
 TEL09913-3-2345

畜産
 島の主要産業は、なんといっても畜産です。どの島でも黒毛和牛の飼育が盛んなわけ、竹島や硫黄島は鬼界カルデラの外縁上にある平坦地が放牧地として使われていました。まさに火山地形が支える産業といえるでしょう。島の緩やかな斜面をのんびり歩く牛の姿は眺めているだけで、こちらものんびりそうです。

焼酎(つばき)
 島では昔から主要な食べ物として「さつまいも(からいも)」が栽培されてきました。台風が多く襲来する厳しい環境の中、急傾斜地を切り開いた畑で「ヘニオトメ」を栽培しています。そのヘニオトメと黒島の豊富な水資源で焼酎(焼酎みしま村、焼酎メンドンの2銘柄)を仕込んでいます。古い火山島である黒島の水は「軟水」で、ミネラルがバランスよく溶け込んでおり、焼酎の旨みや香りの個性を引き立てます。

みしま村 焼酎プロジェクト 公式HP

フェリーみしまで楽しむ鹿児島島のジオ

鹿児島港を出発して三つの島々をめぐる三島村の唯一の交通機関である「フェリーみしま」は、移動や運搬の役割だけでなく、日本を代表するといっても過言ではない活火山や珍しい地形を楽しむことができます。世界的にも知られている3つの大カルデラ(始良、阿多、鬼界)を望み、またその内部を航行するという面白さまで備わっています。それだけに、フェリーに乗船したら、鹿児島島のジオを楽しみたいのもったいないです。

9:30~ 9:35~ 10:20~ 10:35~ 11:00~

加久藤カルデラ 小林カルデラ 始良カルデラ 阿多カルデラ 鬼界カルデラ

三島村・鬼界カルデラ ジオパーク

1 出港地である鹿児島港から北の方を見ると、日本ジオパークに加盟している霧島山を望むことができます。さらには錦江湾(鹿児島湾)の湾奥にあたる始良カルデラの地形を楽しめます。

2 約10万年前に大噴火した阿多カルデラは、潮位の変化によって陸地となつた知林ヶ島の指宿市街地側と大隅半島の根占方面の間の錦江湾に相当します。これはほとんどなくダイナミックであり、しかもフェリーはその中を進んでいます。

3 ついに鬼界カルデラの縁となる竹島に到着です。竹島港に着いてすぐ目の前に溶結凝灰岩などが堆積した地層を観察できます。そこからは大規模噴火の前後の痕跡を読み取ることができます。フェリーの屋上にはその地層の解説板も設置されていますので、ぜひご覧ください。竹島の次は、硫黄島、黒島へと進んでいきます。各島それぞれの個性を堪能してください。

4 大隅半島には、新第三紀の中新世に貫入した花崗岩によって形成された山脈に連なっています。垂水市・鹿屋市に広がる高嶺山系や南大隅町の辻岳などがそれです。

5 活火山に指定されている間開岳や山川湾も天気の良い日には進行方向の右側に望めます。灯台のある長崎島は、阿多カルデラより古い火山活動により形成されたものです。一番若いとされている間開岳は平安時代にも噴出した記録があります。

※この時刻表はあくまで目安であり、変更される場合があります。